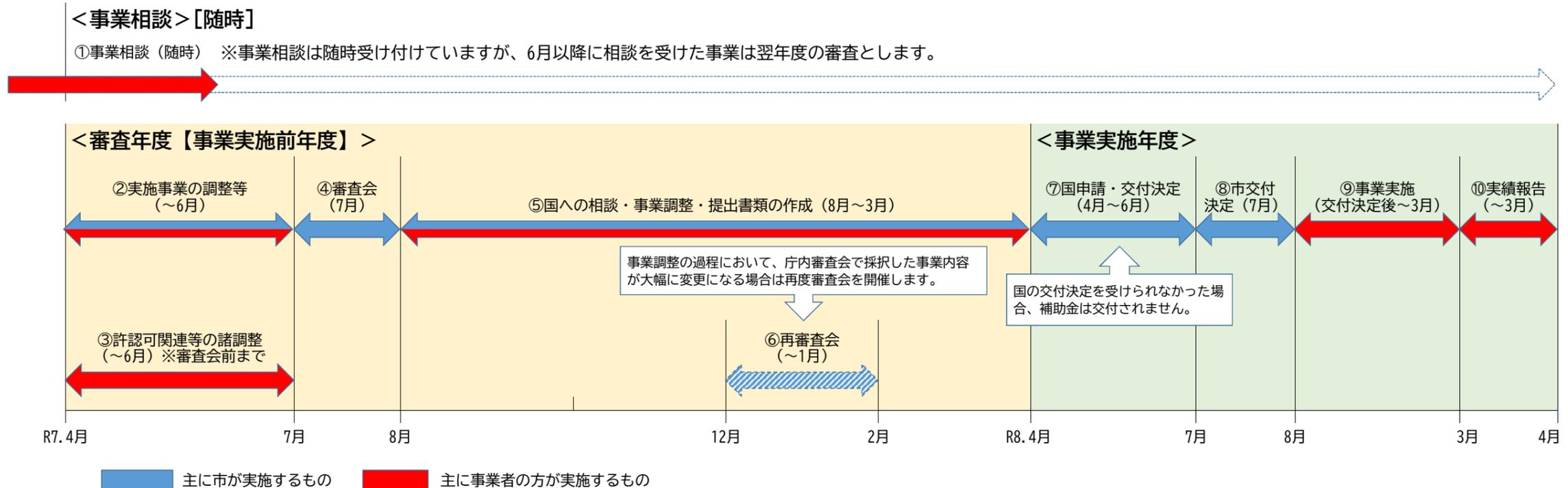


◆ローカル10,000プロジェクトスケジュール例

※事前相談が必須となります。事業の実施まで相応の期間を要しますので、事前相談は余裕を持ってお願いします。

以下は、国補助事業を活用する場合のスケジュールの一例です。



<事業相談> [随時]

①事業相談 (随時) …事業内容等について、補助金の制度に合致しているか等、随時相談を受け付けています。※余裕を持った相談をお願いします。

<審査年度【事業実施前年度】>

②実施事業の調整等 (～6月) …補助要件に合致するよう事業内容の調整等を行い、実施計画書等を作成します。

③許認可関連等の諸調整 (～6月) …開発許可等関連法規に合致するか等、事業実施に向けての確認を行います。

④審査会 (7月) …作成した実施計画書等を基に、市で事業審査会を実施します。審査会で採択された事業は⑤に進みます。

※審査会で採択されなかった場合、補助金は交付されません。

⑤国への相談・事業調整・提出書類の作成 (8月～3月)

…申請に向けて、国へ事業内容の事前相談を行います。必要に応じて事業内容の調整等を行い、提出書類を作成します。

⑥再審査会 (～1月) (必要な場合のみ) …事業調整の過程において、審査会で採択した事業内容が大幅に変更になる場合は再度審査会を開催します。

<事業実施年度> ※原則、審査年度の翌年度となります。

⑦国申請・交付決定 (4月～6月) …前年度に作成した提出書類を基に、国へ申請を行います。事業が採択されれば、6月頃に国から交付決定されます。

※国の交付決定を受けられなかった場合、補助金は交付されません。

⑧市交付決定 (7月) …国での交付決定後に、市から交付決定を行います。

⑨事業実施 (交付決定後～3月) …市から交付決定を受けた後、事業を実施します。

⑩実績報告 (～3月) …事業完了後、実績報告を行います。